



二分木ヒープ (Binary Heap)

2018年度

担当：只木進一（工学系研究科）

二分木ヒープとは

- 集合・リストから「最小」要素を取り出す
 - 二分木ヒープは、そのための標準的データ構造
- 二分木ヒープを保存するデータ構造
- 二分木ヒープの操作のメソッド
- 対象となるデータクラス
 - 識別のためのlabelフィールド
 - 値を保持するvalueフィールド

二分木ヒープとは、どういう二分木か

- ▶ ある頂点の要素 p のvalueは、その子 c の要素のvalueより大きくない
 - ▶ $p.value \leq c.value$
 - ▶ 半順序木になっている
- ▶ 完全二分木である
 - ▶ 最下層以外の第 k 層には、 2^{k-1} 個の頂点がある。
 - ▶ 最下層は、左から詰めて頂点がある。

半順序集合 (partially ordered set) または順序集合 (ordered set)

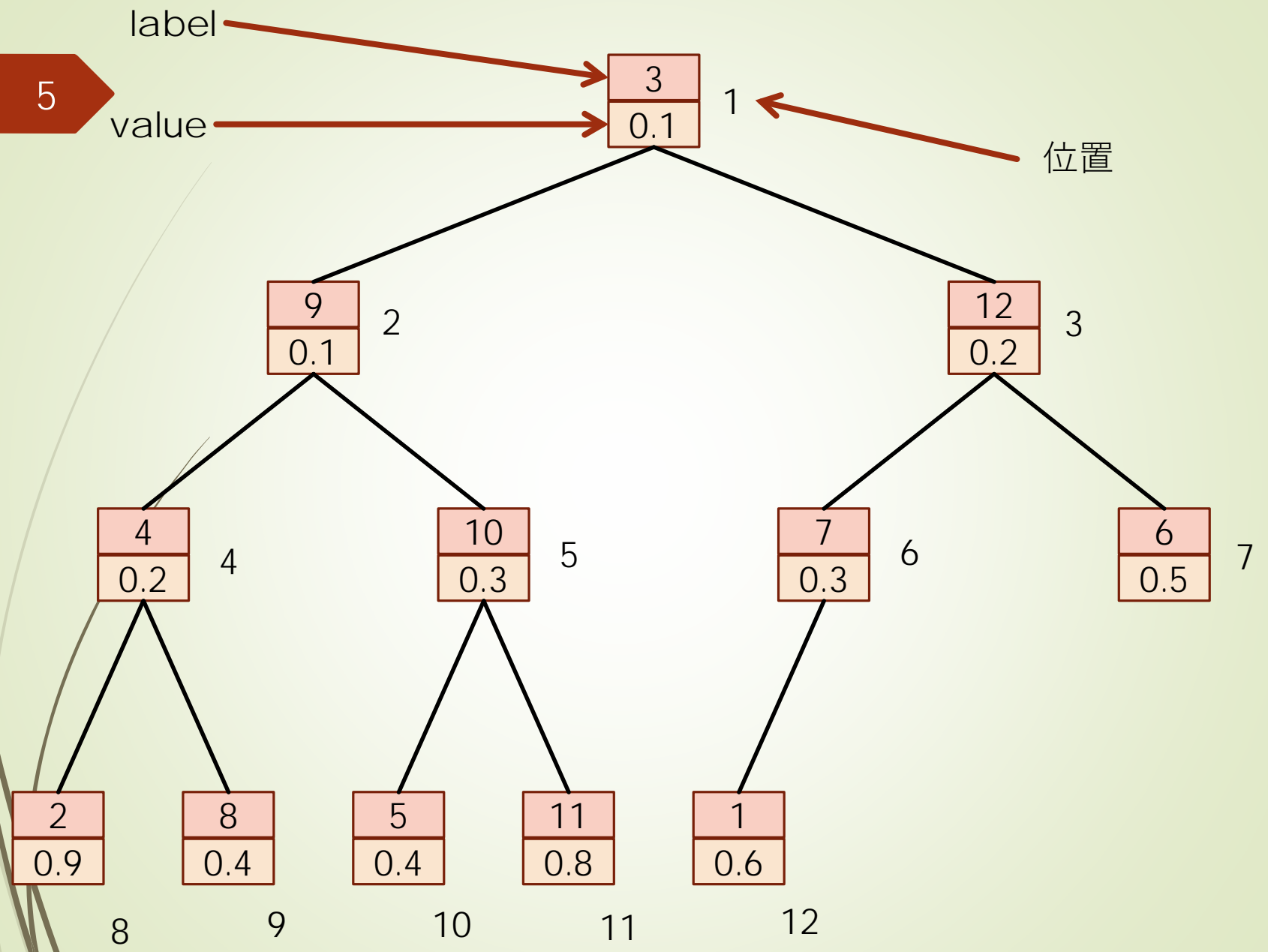
- ▶ 集合 P とその上の関係 \leq に対して、以下の法則が常になりたつとき、 P を半順序集合と呼ぶ。ここで、 $a, b, c \in P$ とする任意の要素とする。
 - ▶ 反射律 (reflectivity): $a \leq a$
 - ▶ 推移律 (transitivity): $(a \leq b) \wedge (b \leq c) \Rightarrow a \leq c$
 - ▶ 反対照律 (antisymmetry): $(a \leq b) \wedge (b \leq a) \Rightarrow a = b$
- ▶ 任意の元の組 $a, b \in P$ に対して $a \leq b$ または $b \leq a$ の何れかが必ず成り立つとき、 P を全順序集合 (totally ordered set) と呼ぶ。

5

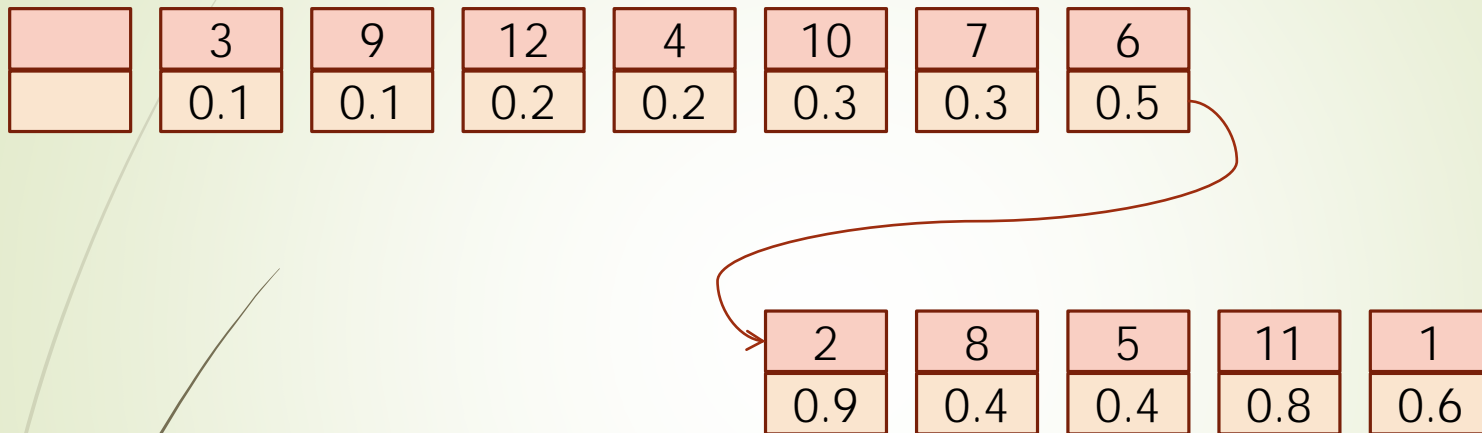
label

value

位置



データの保持形式

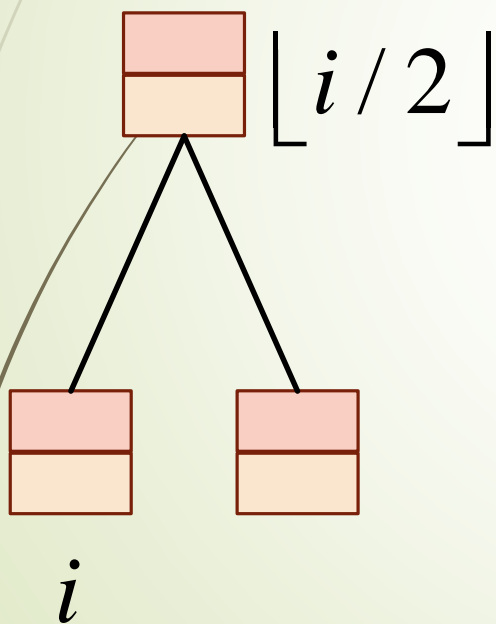


▶ リストで保持

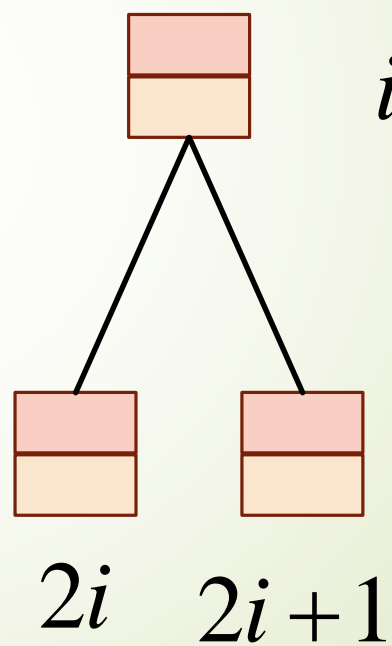
- ▶ 0番：空（リストのインデックスが1から始まるプログラミング言語では不要）
- ▶ 1番：根の要素
- ▶ 2^k 番：第 k 層の左端の要素

親子の番号の関係

親の番号



子の番号



要素の追加

- リストの終端に要素を追加する
 - 木の最下層の一番右に追加、または新たな層を作って、その左端に追加

```
void add (O o){  
    int n = |L|;  
    L.append(o);  
    n ++;  
    shiftUp(n); //要素を正しい位置へ移動  
}
```

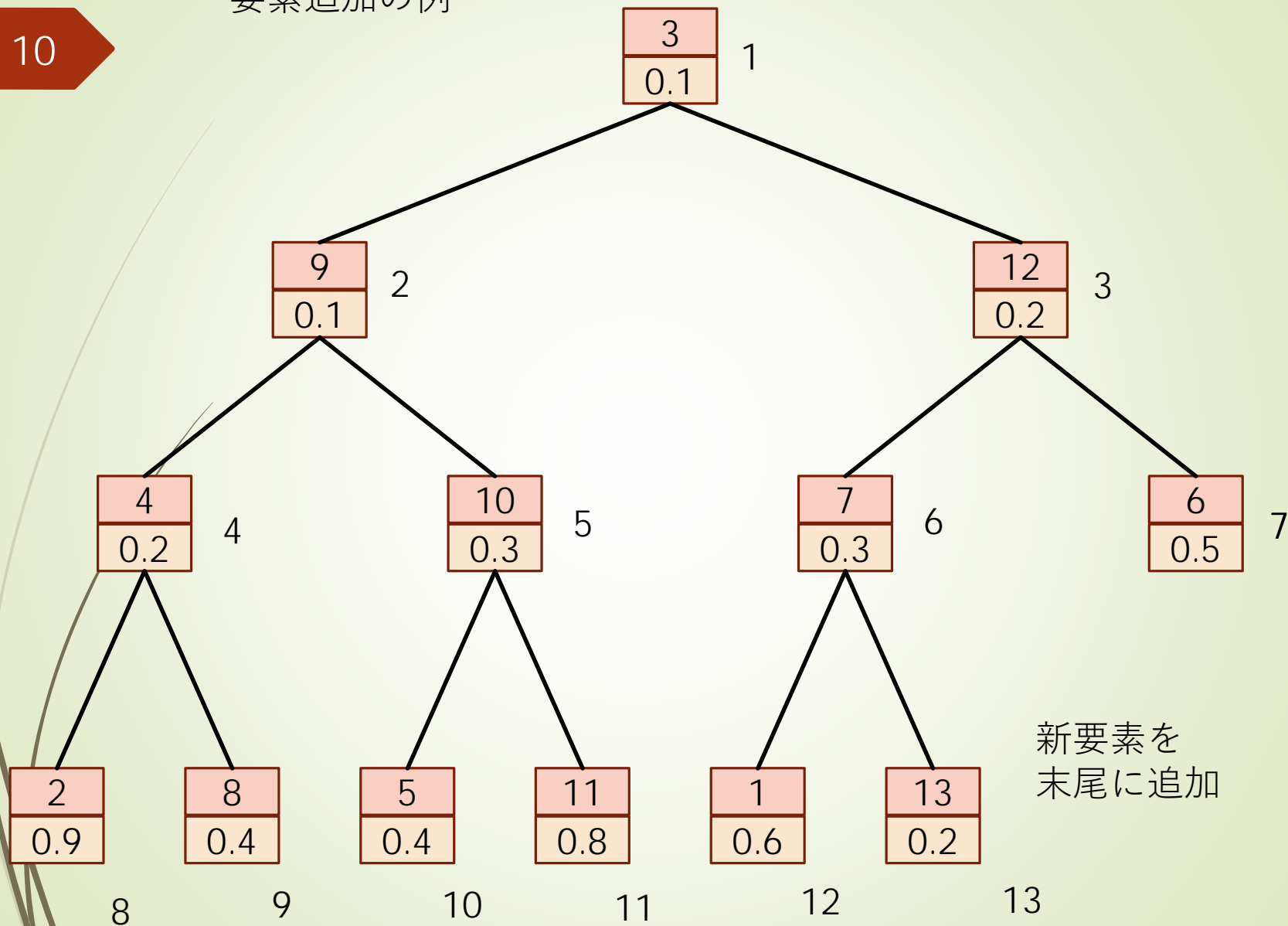

要素の追加：シフトアップ

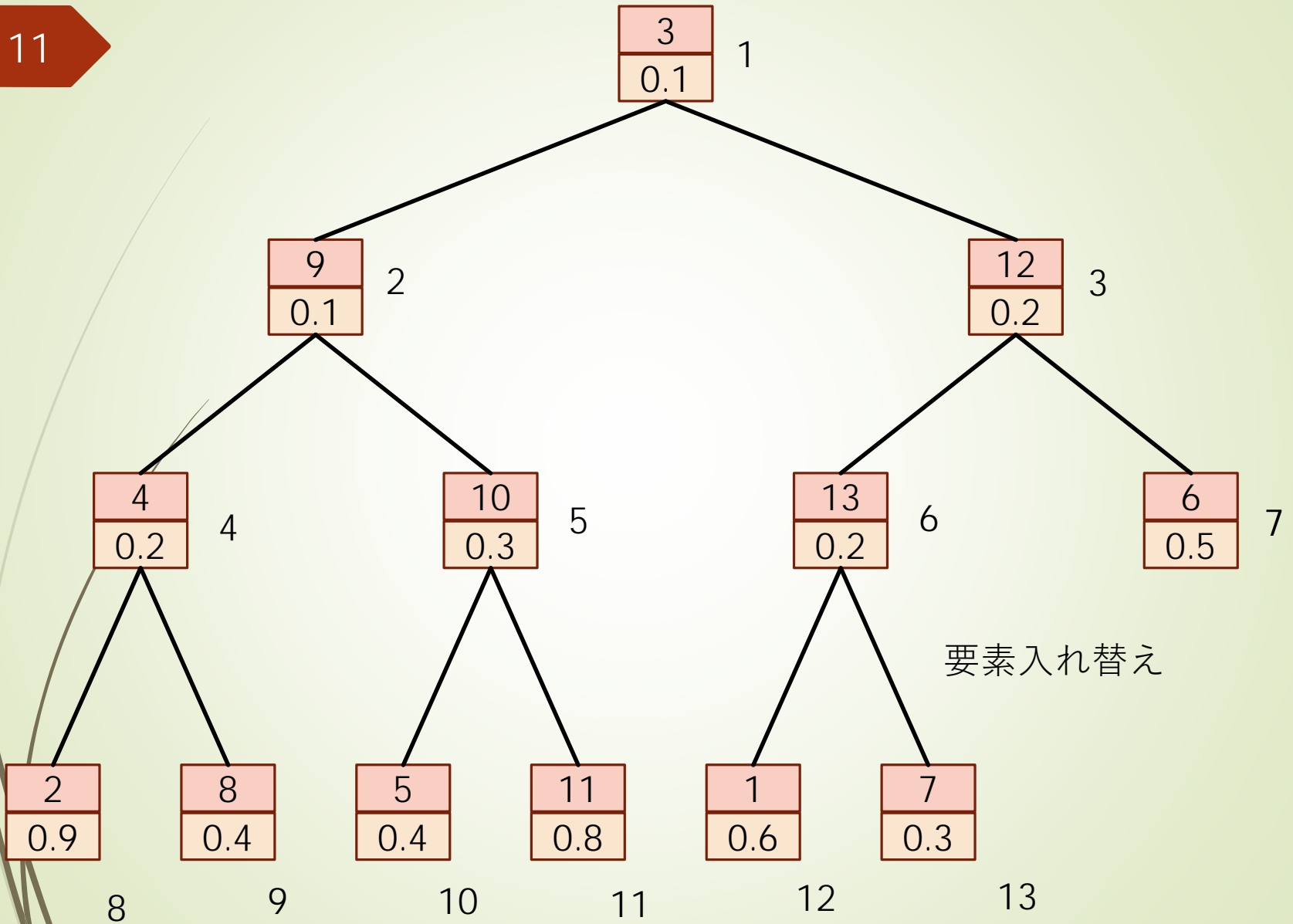
- 追加した新要素を正しい位置へ移動
- 位置 k の要素が、親の位置 $[k/2]$ の要素よりも小さいならば、二つの要素を入れ替える
- $\text{isLess}(i, j)$
 - $o_i.value < o_j.value$ のとき真
- $\text{swap}(i, j)$ ：要素入れ替え

```
void shiftUp(int k){
    if ( k > 1 && isLess(k, [k/2])){
        swap(k, [k/2]);
        k = [k/2];
        shiftUp(k);
    }
}
```

要素追加の例

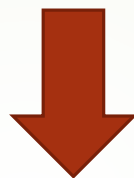
10





最初から木を構築

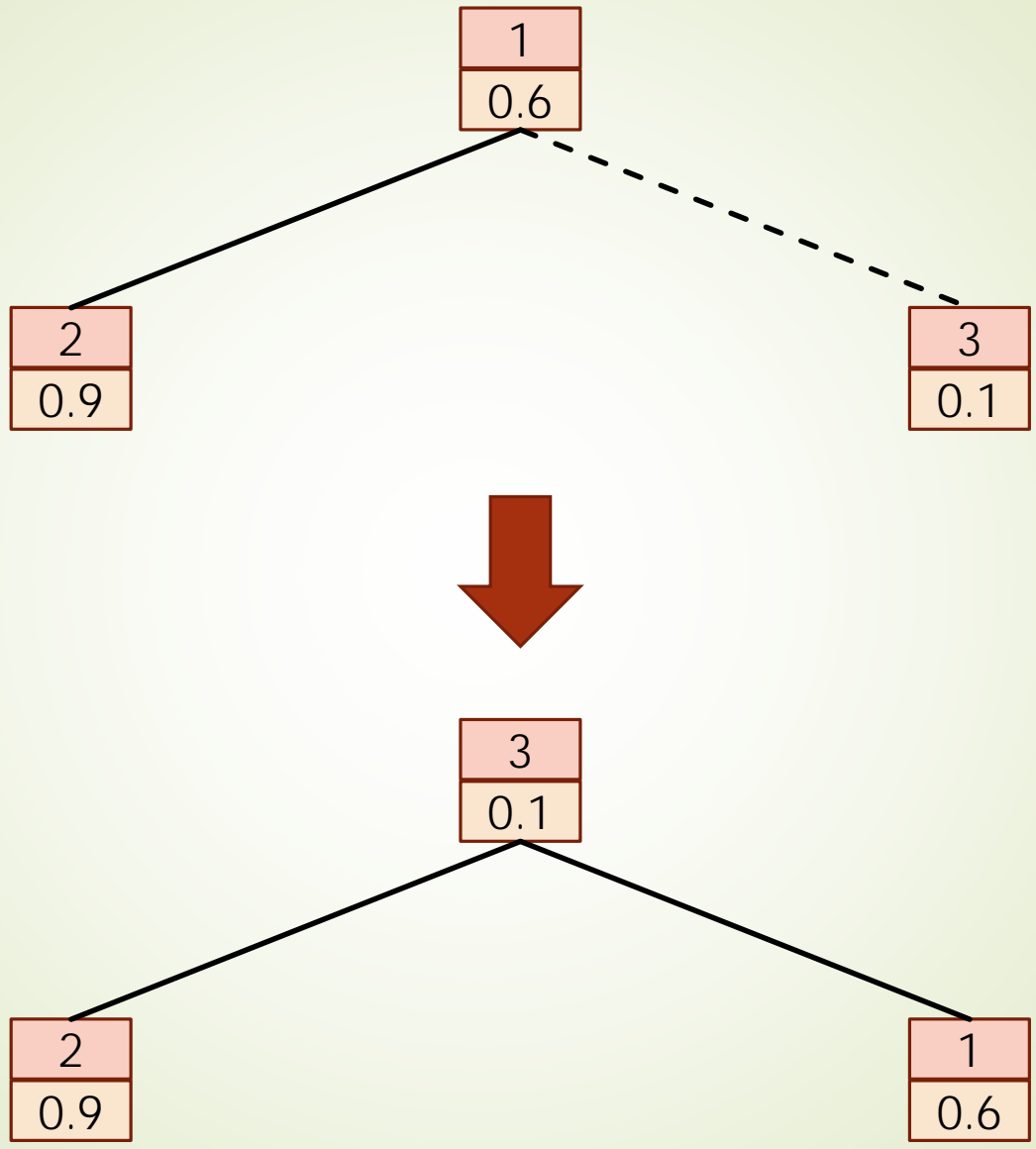
1
0.6

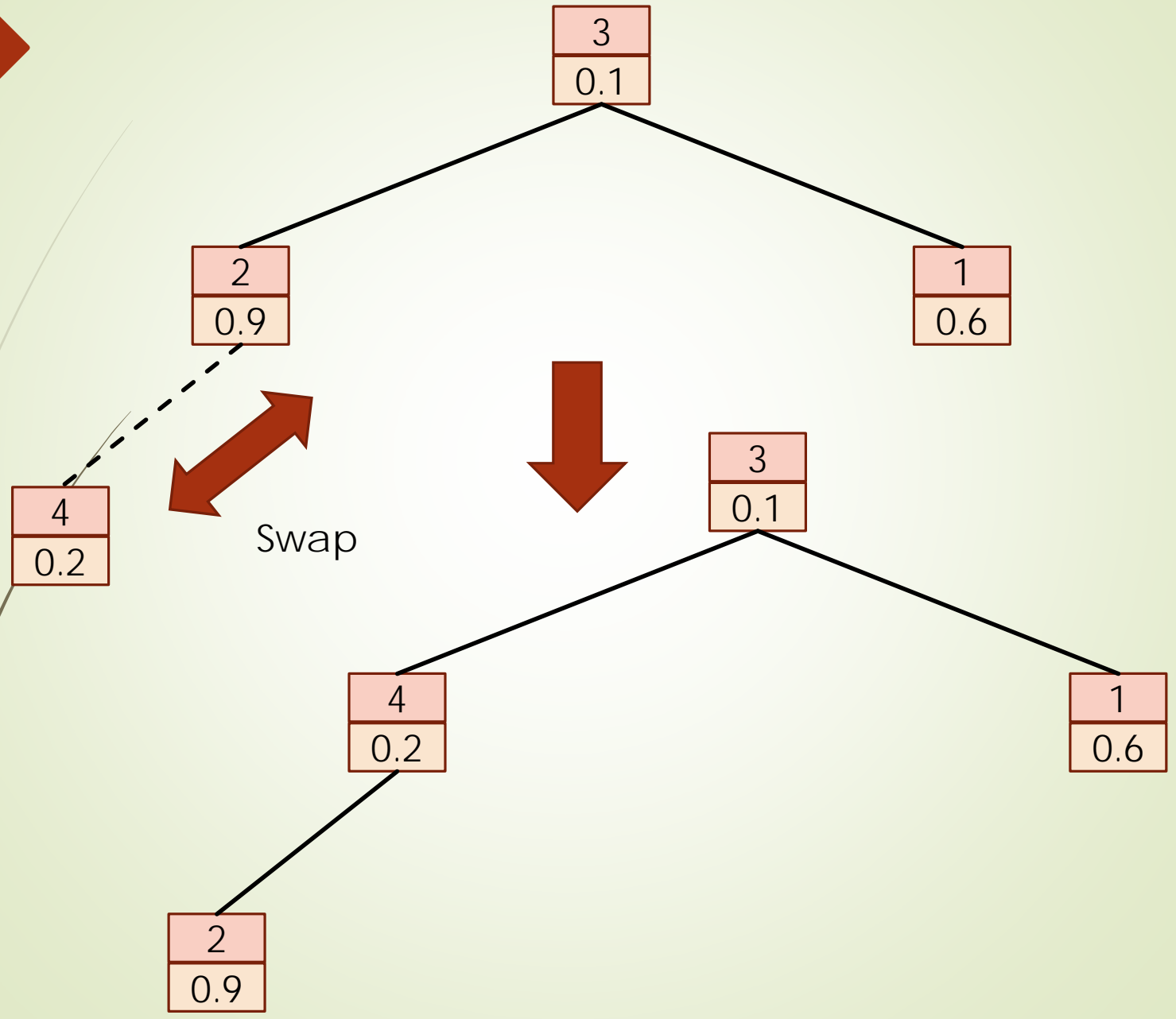


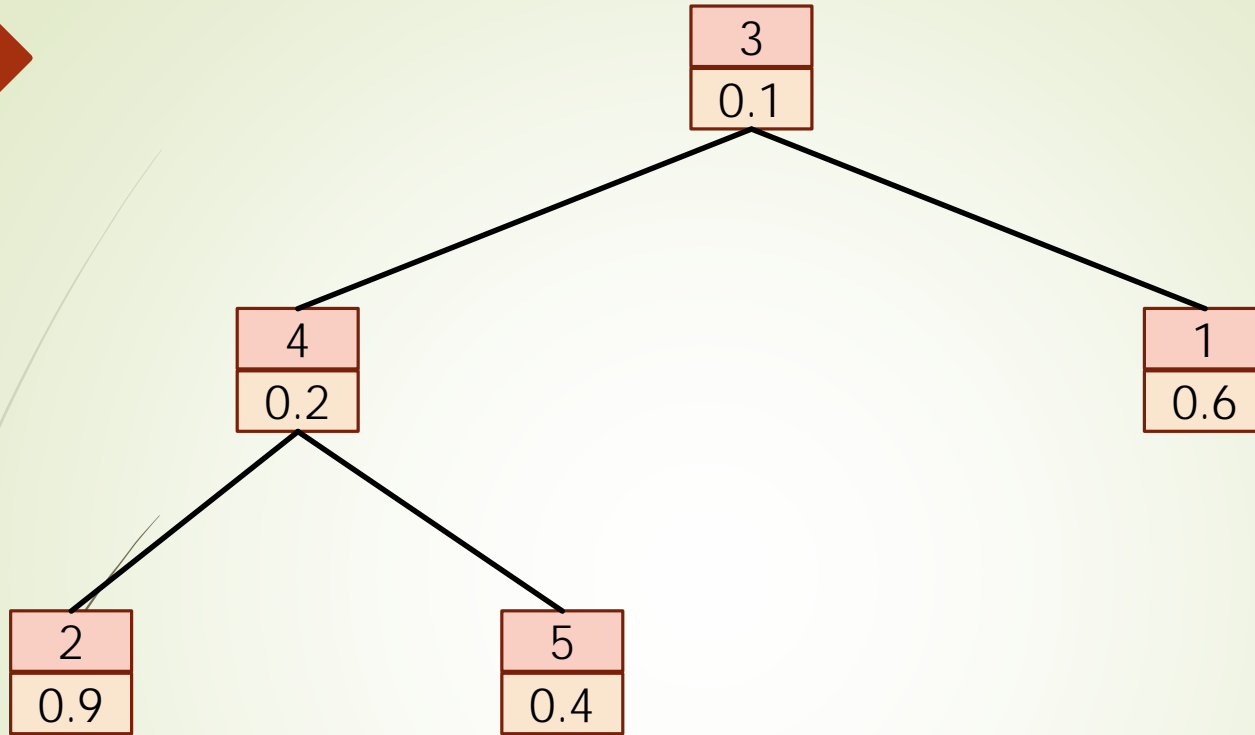
1
0.6

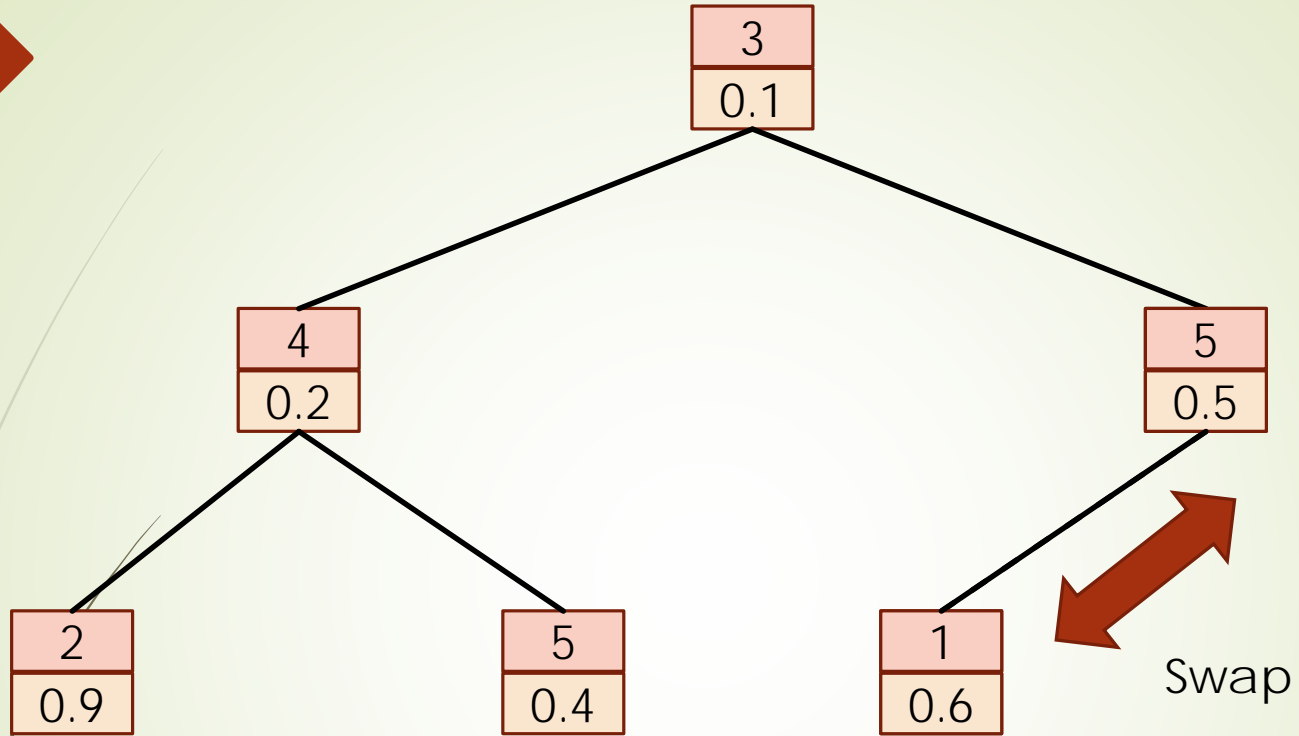
2
0.9

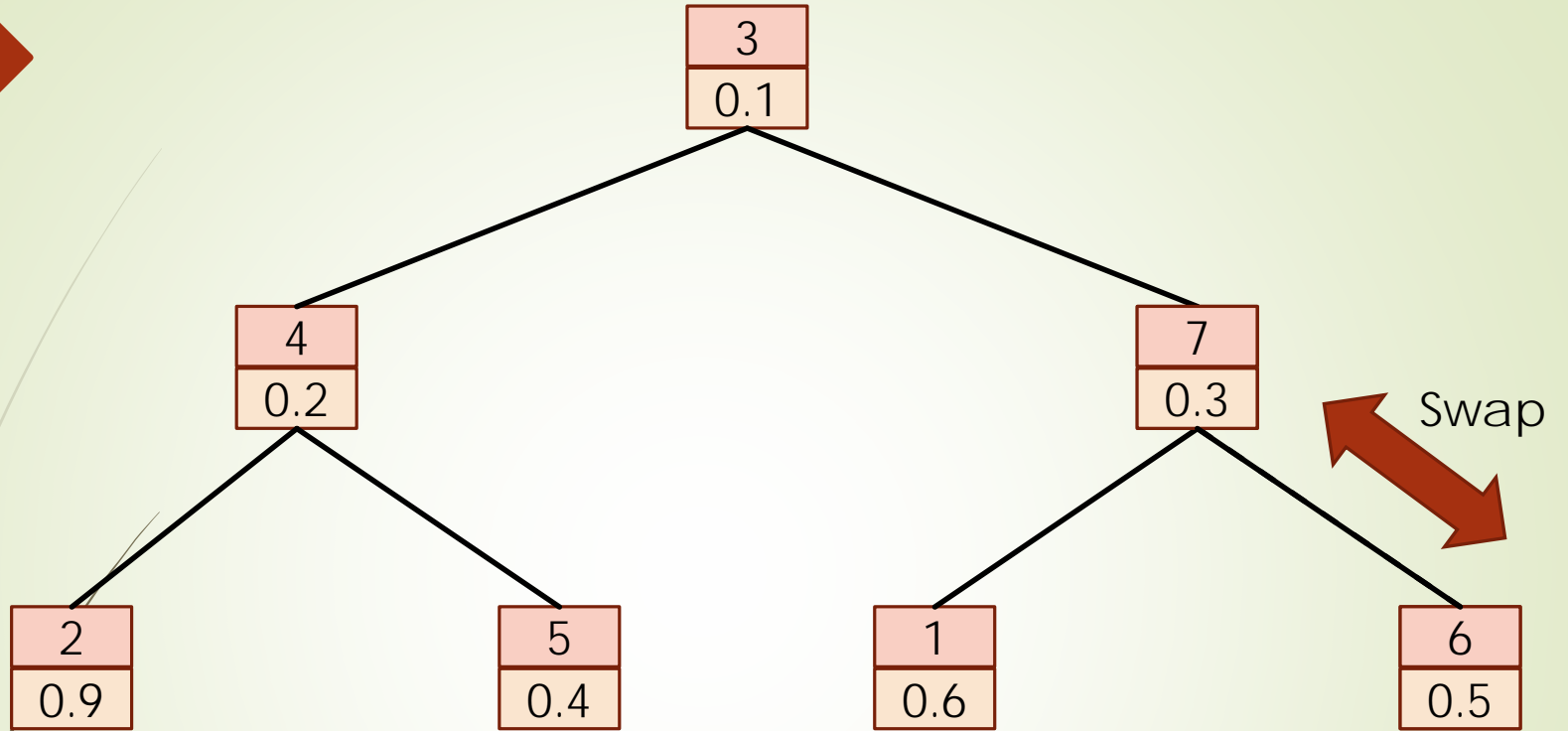
2

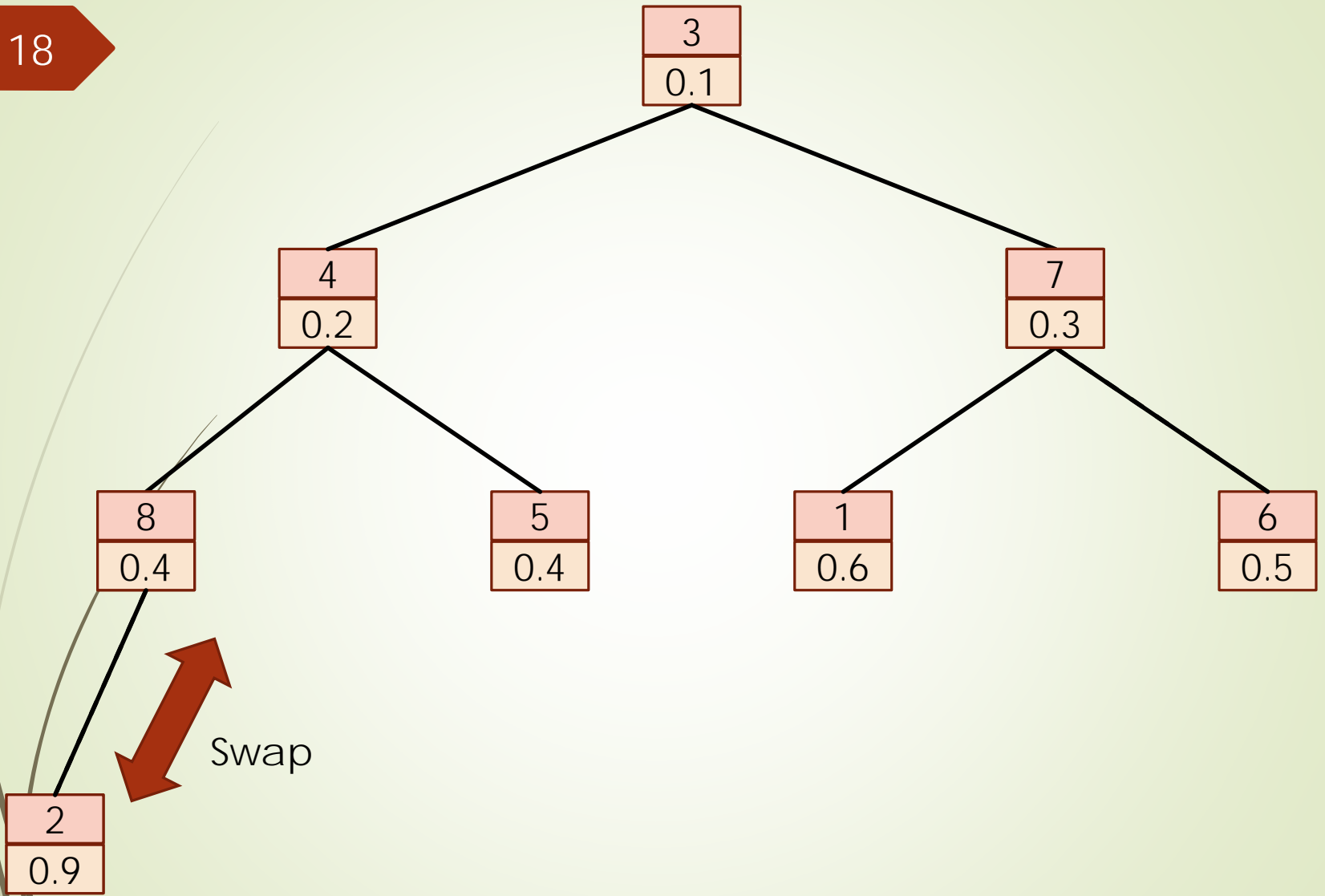












最小要素の取出し

- ▶ 最小要素は木の根として保存されている
- ▶ 最小要素を取り除き、再構築する
 - ▶ 最小要素の取り除き：リスト中の1番が空く
 - ▶ 最後尾の要素を取り除き、リストの1番に入れる
 - ▶ 適切な位置へシフトダウンする

```
○ poll(){  
  ○  $t = L.get(1)$ ;  
  ○  $x = L.removeLast()$ ;  
   $L.set(1, x)$ ;  
   $shiftDown(1)$ ;  
  return  $t$ ;  
}
```

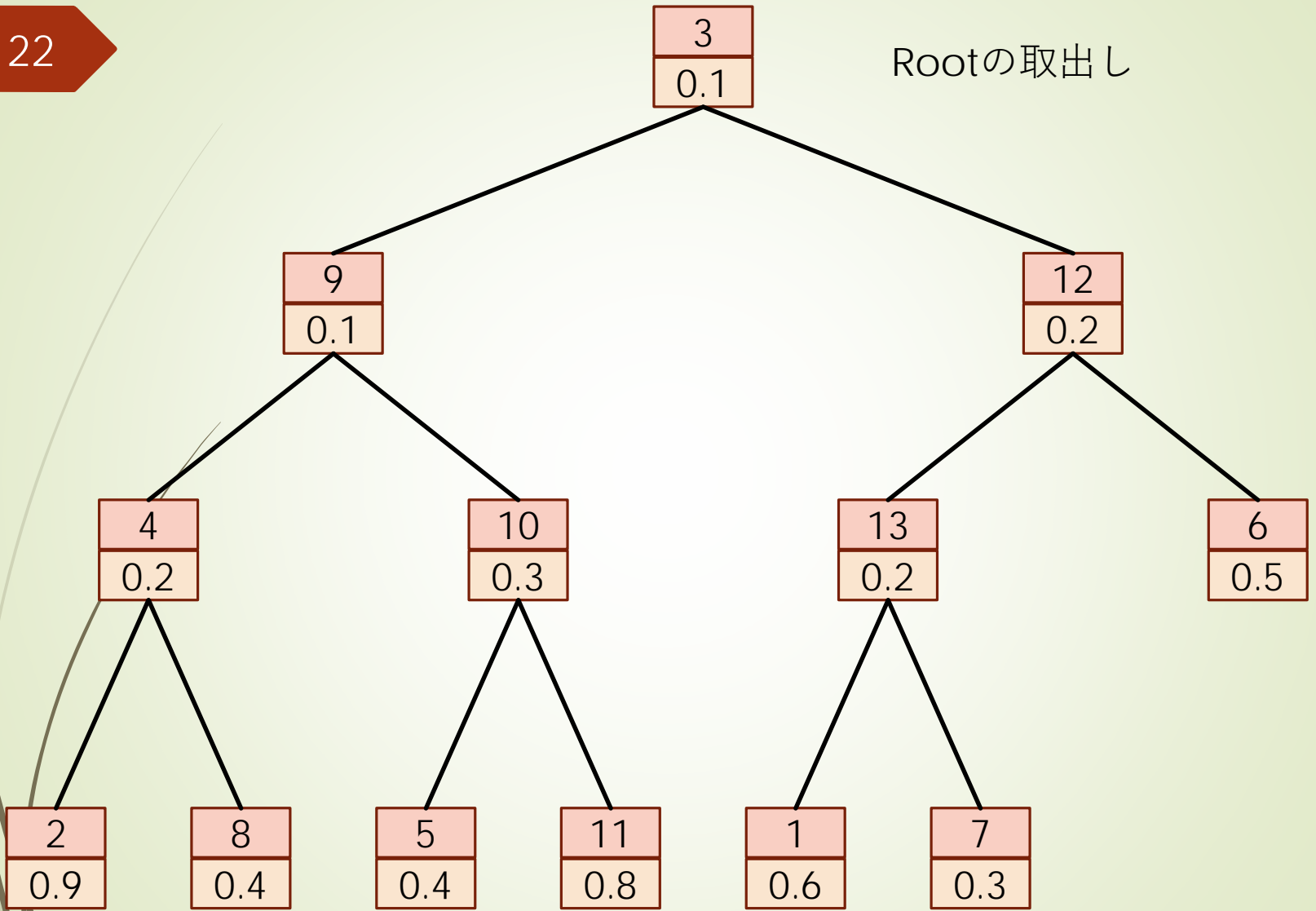
要素の取出し：シフトダウン

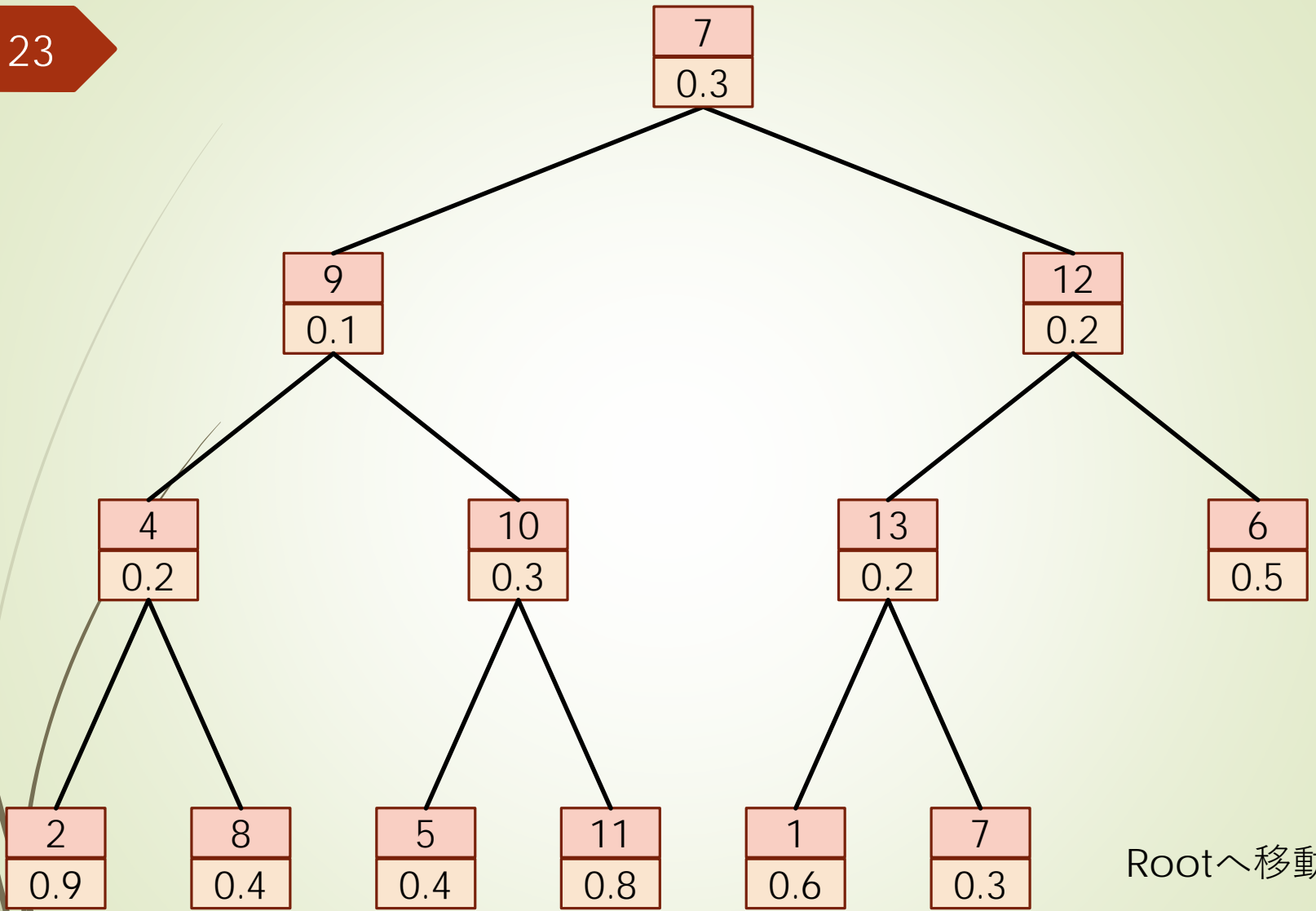
- ➡ 追加した新要素を正しい位置へ移動
- ➡ 位置 k の要素が、子の要素の位置 $2k$ と $2k + 1$ の小さいほうの値より大きい場合、その小さい値の子を入れ替える

要素の取出し：シフトダウン

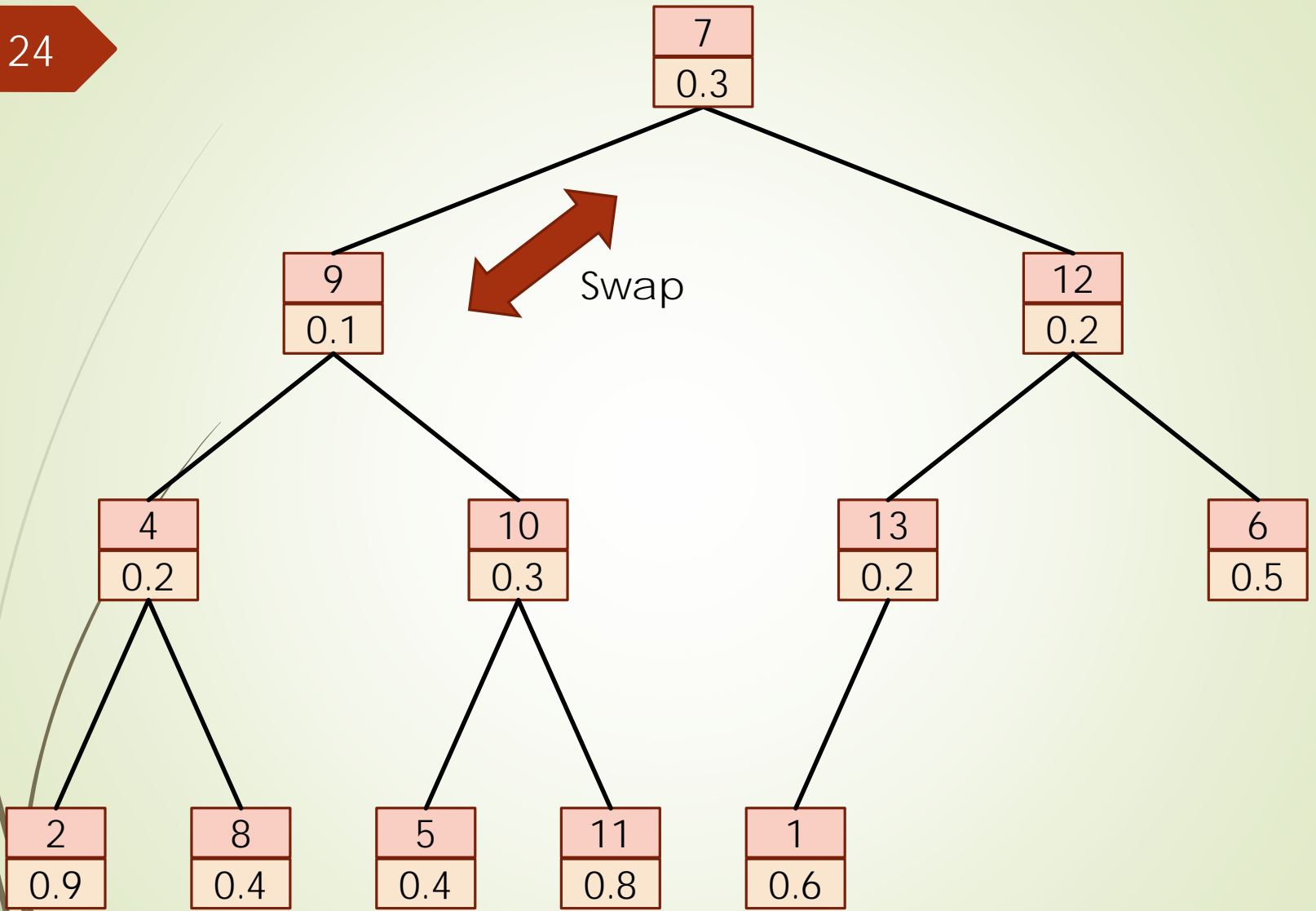
```
void shiftDown(int k){
    int n = |L|;
    if (2 × k ≤ n ){
        int j = 2 × k;
        if (j < n && isLess(j + 1, j))j ++;
        if (isLess(k, j))return;
        swap(k, j);
        shiftDown(j);
    }
}
```

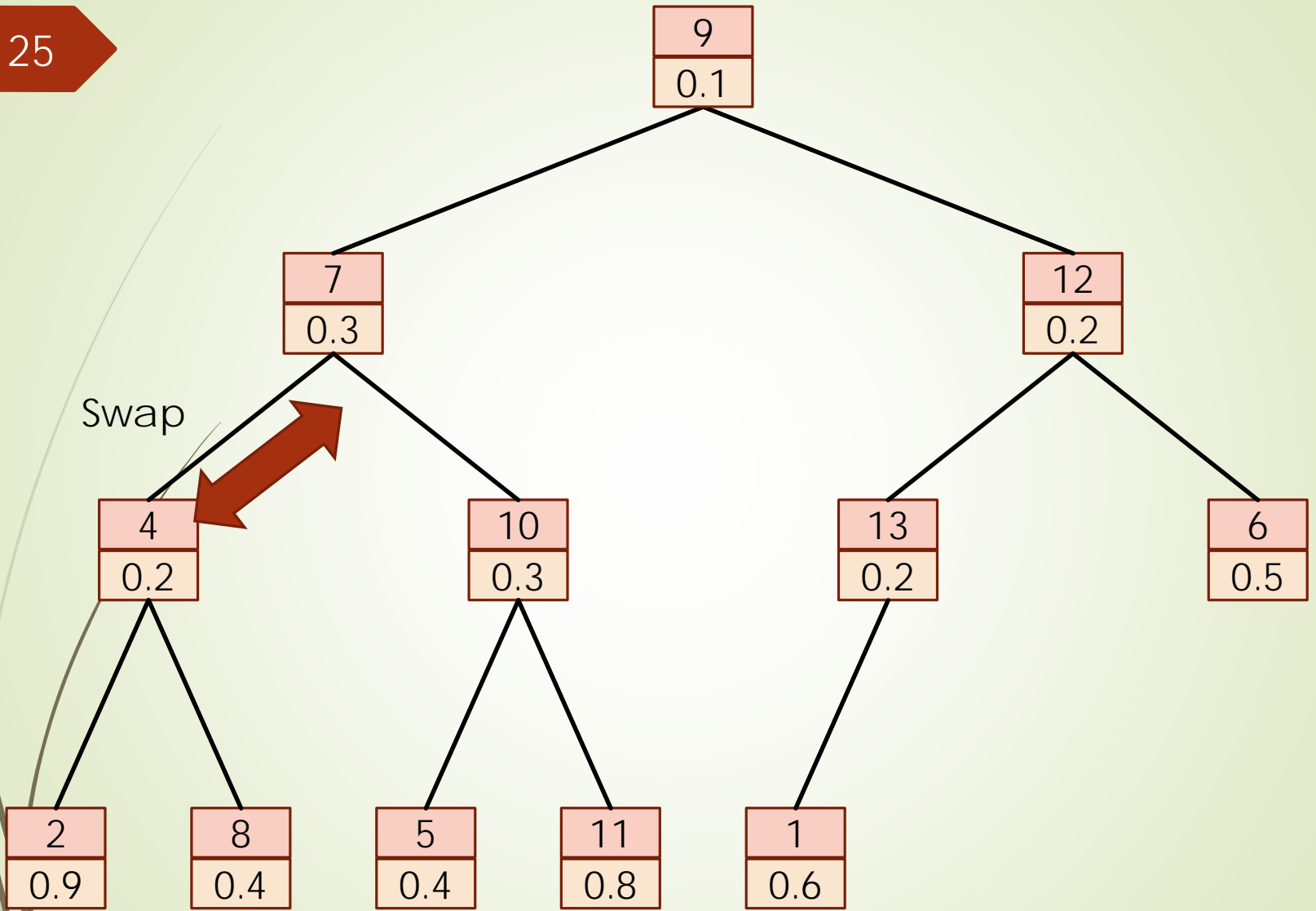
Rootの取出し

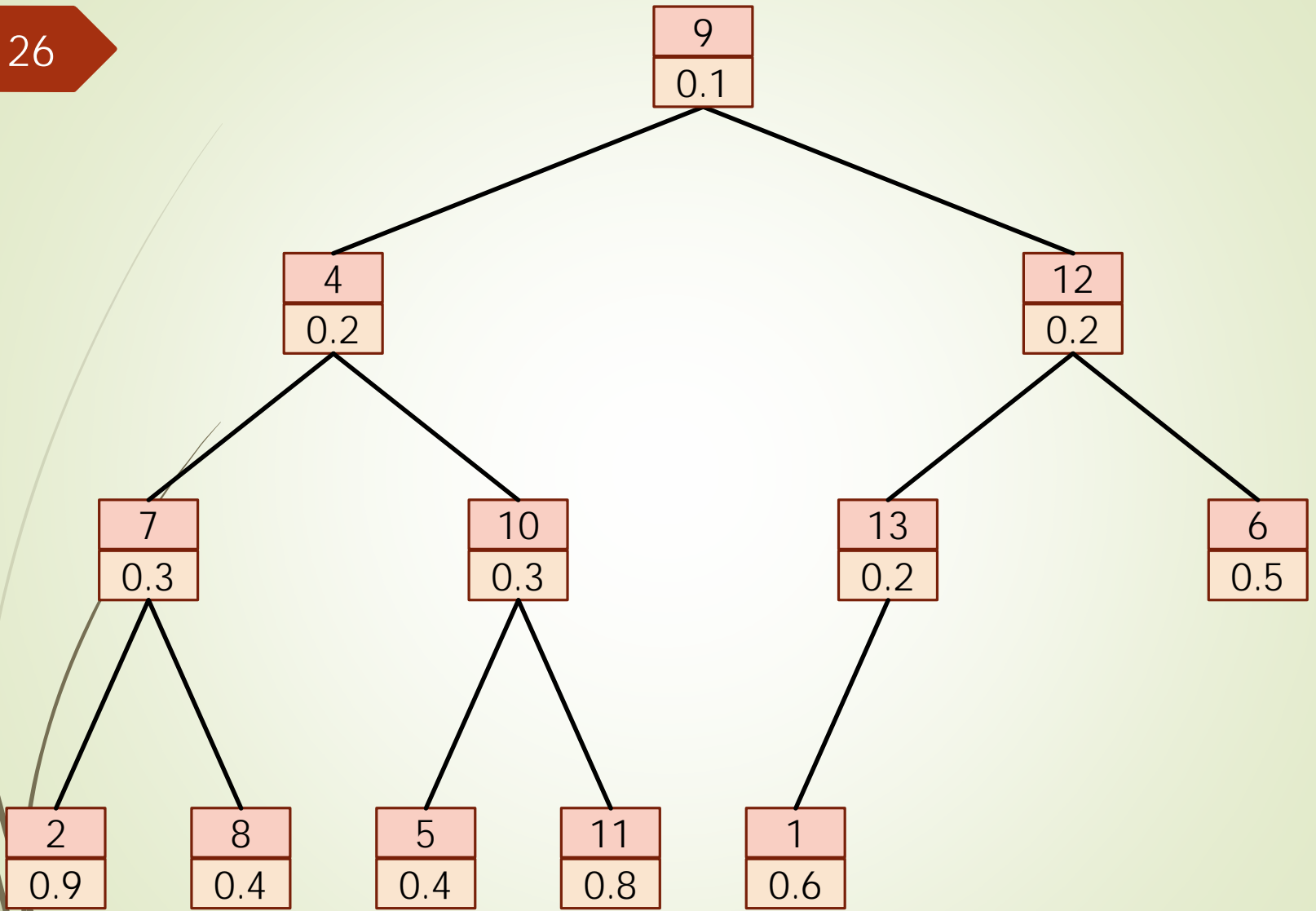




Rootへ移動





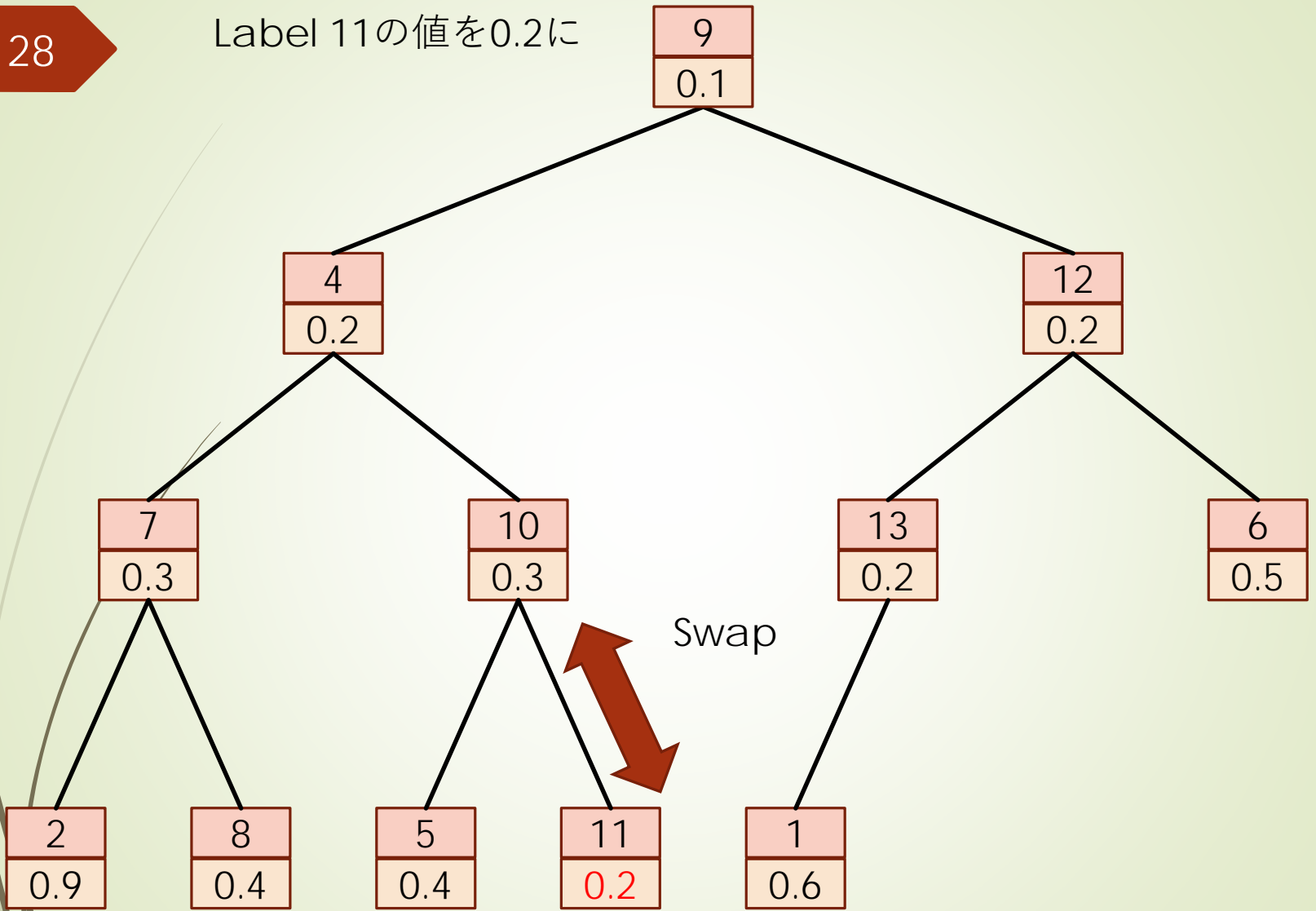


特定の要素の値を小さくする

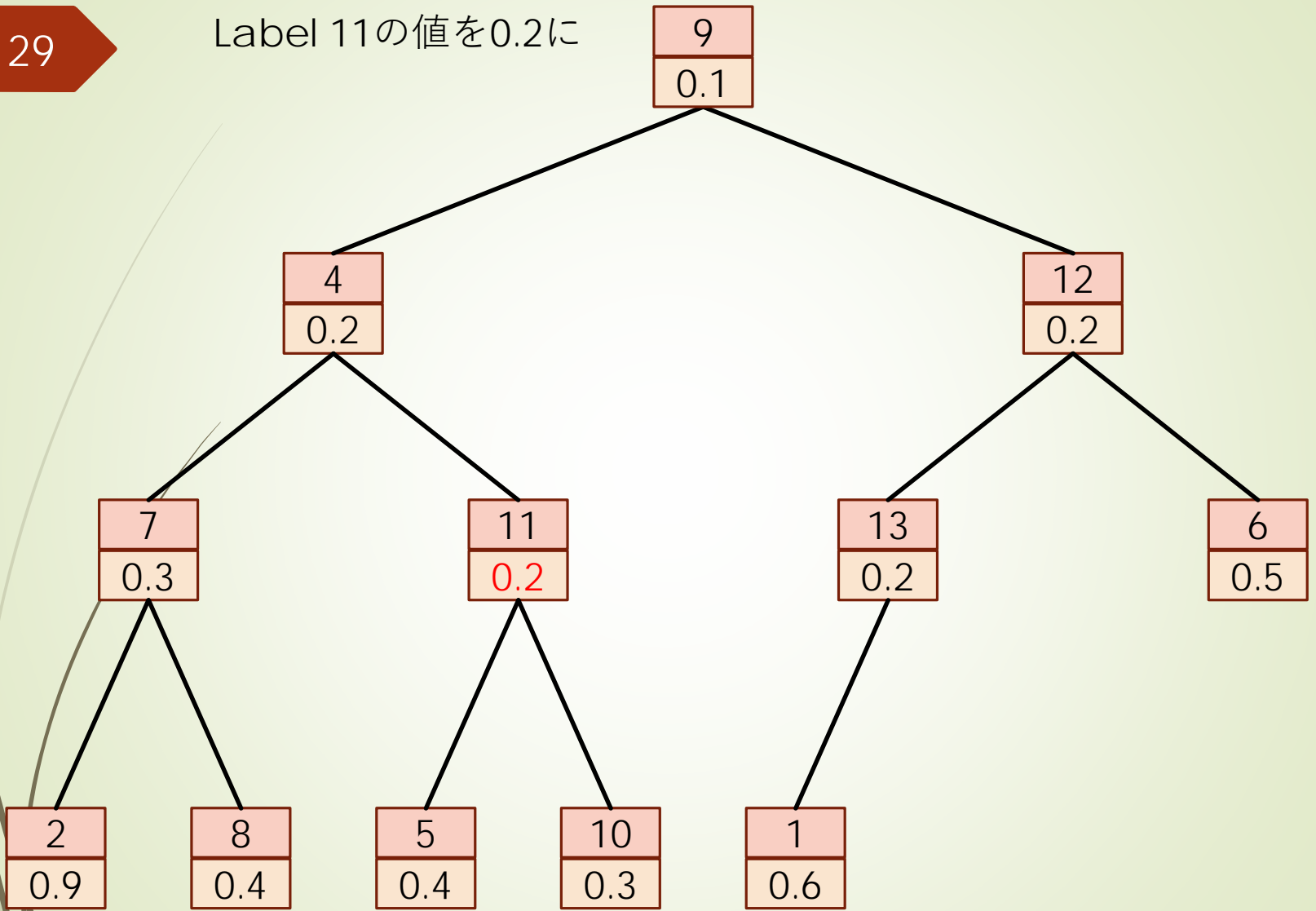
- ➡ その要素のインデクス k
- ➡ `shiftUp`を k を起点に実施

```
void reduceValue(O o){  
     $k = o$  のリスト中のインデクス  
    shiftUp(k)  
}
```

Label 11の値を0.2に



Label 11の値を0.2に

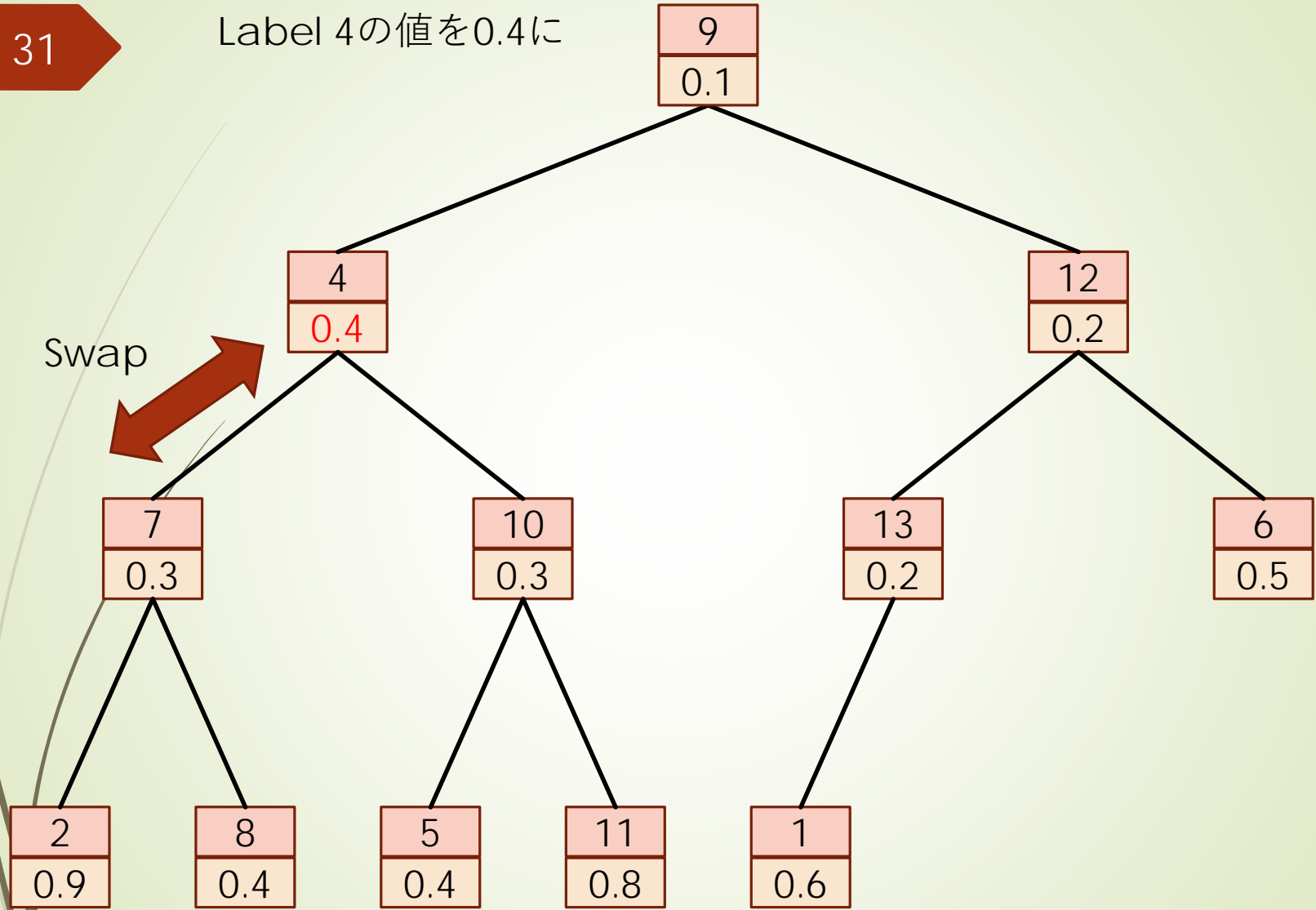


特定の要素の値を大きくする

- ➡ その要素のインデクス k
- ➡ `shiftDown` を k を起点に実施

```
void raiseValue(O o){  
     $k = o$  のリスト中のインデクス  
    shiftDown( $k$ )  
}
```

Label 4の値を0.4に



Label 4の値を0.4に

